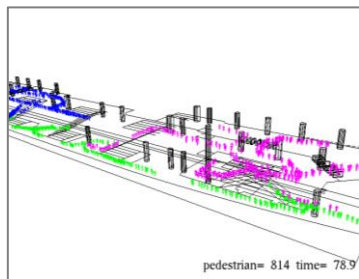
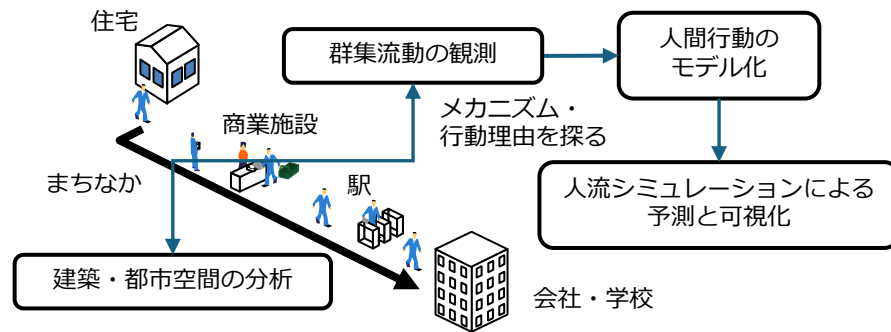


人の流れのシミュレーション

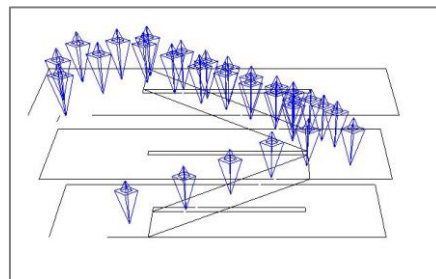
関連キーワード： 群集流動、避難行動、人流シミュレーション

研究内容

・渋滞や混雑など、人が集まる影響の評価・検証を目的に、人の流れを観測し、モデル化を行い、人流シミュレーションの開発を行っています。特に、防災分野での活用として、避難行動などのモデル化による避難シミュレーションの構築を目指しています。



地下鉄駅の混雑検証



階段避難時の滞留現象の解明

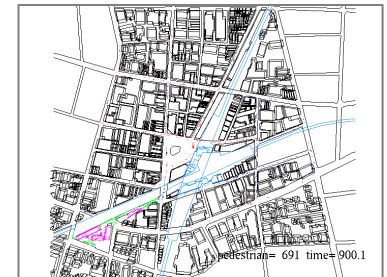
研究者プロフィール

- ・工学部 情報基盤工学科 准教授 門倉博之
- ・専門分野：建築人間工学、建設情報学
- ・研究分野：群集流動、避難行動
- ・所属学会：
日本火災学会、日本建築学会、情報処理学会
- ・主な経歴：
東急建設、東急総合研究所を経て2017年から現職



地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

・例えば、回遊行動シミュレーションを構築することができれば、施設開業などによる歩行者動線の変化の予測など、施策や取り組みの評価が可能となります。一方、個人ごとの移動行動は多様であるため、行動データの取得は難しく、地域・産学官の連携が必要と考えます。



回遊行動シミュレーションの例

研究者への連絡先（産学連携推進センター）

- ・E-mail：srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- ・TEL：022-354-8122